

(拡充)環境的に持続可能な交通(EST)の実現に向けたモデル事業

(エネルギー特会)

150百万円(93百万円)

水・大気環境局 自動車環境対策課

1. 事業の概要

環境的に持続可能な交通(EST)モデル事業は、国土交通省・警察庁・環境省との3省庁連携事業として、平成17年度より実施してきており、平成19年度時点で全国27地域において事業が展開されている。

環境省では、各モデル地域での施策に合わせて、交通需要者のESTに対する取組喚起を促す事業を分担してきている。

平成20年度においては、この事業に加え、新たに平成20年度より新規採択されたモデル地域に対して、CO2排出削減効果の調査に関する支援を実施し、その結果をESTによるCO2削減効果としてデータベース化・情報提供することで、ESTの全国への更なる普及推進を図る。

2. 事業計画

調査項目	H20	H21	H22
普及啓発事業の実施(継続)			→
CO2排出削減効果調査(新規)			→

事業費： 93百万円、 57百万円

3. 施策の効果

ESTモデル地域において、交通需要者にESTへの取組喚起を促すことでESTの地域への定着を図る。また、各モデル地域でのCO2排出削減効果の調査を環境省からの支援で管理することで、その結果をデータベース化・情報提供ができ、ESTの更なる普及推進が図れる。

4. 備考

委託費 150,000千円

(内訳) EST普及啓発業務(地方公共団体26箇所) 93,000千円

CO2排出削減効果調査(地方公共団体10箇所) 57,000千円

環境的に持続可能な交通（EST）モデル事業

環境的に持続可能な交通の実現を目指す先導的な地域を募集し、関係省庁、関係部局の連携により集中的に支援
モデル事業には、環境目標の設定・検証、取組効果の持続性の確保を求め、環境の観点から施策の効果を確保
自治体、地元経済界、交通事業者、道路管理者、警察関係者、NPO等、地元の幅広い関係者が参加して事業を推進

モデル事業のメニュー例

環境の改善

公共交通機関の利用促進

通勤交通 マネジメント

従業員のマイ
カー通勤の自粛
等
パークアンド
ライド

LRTの整備・ 鉄道の活性化 等

LRTプロジェクトの
推進
ICカードの導入
交通結節点整備

バスの活性化

オムニバスタウン
サービス改善
PTPS
バス停改善
バスロケーションシステム
ノンステップバス
共通ICカード

自動車交通流の円滑化

道路整備等

交差点改良等
路上工事の縮減
ボトルネック踏切
の解消

交通規制等

バス専用・優先
レーン
違法駐車対策の
推進

歩行者・自転車対策

関連の基盤整 備等

歩道、自転車道、
駐輪場等の整備
地域の合意に基
づくトランジットモールの
導入

低公害車の導入

低公害車等の 導入

CNGバスの導入
促進
低公害車両の優
遇

普及啓発

普及啓発 活動

広報活動の実施
シンポジウム、
イベントの実施
等

環境省支援



LRTプロジェクトの推進



バスロケーションシステム



バス専用・優先レーン



歩道、自転車道の整備



CNGバス等の低公害車の導入

- ・環境改善目標の設定(CO2排出削減量)
- ・排出削減計画策定

CO2排出削減効果調査

環境省支援

取組主体(事業者等)の継続的・
自立的取組体制の確保